



## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 日本システムバンク株式会社 上場取引所 名  
コード番号 5530 URL https://www.syb.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 信嘉  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安嶋 一 TEL 0776-30-1800  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第3四半期の連結業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	5,499	10.2	363	9.7	355	9.9	234	18.8
2023年6月期第3四半期	4,988	△0.6	331	49.4	323	53.2	197	3.4

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 241百万円 (21.1%) 2023年6月期第3四半期 199百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	205.51	—
2023年6月期第3四半期	189.51	—

(注) 2023年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2024年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	6,710	2,217	33.0
2023年6月期	6,874	2,048	29.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 2,217百万円 2023年6月期 2,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	24.00	—	39.00	63.00
2024年6月期	—	24.00	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	—	—	29.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年6月期の期末配当には上場記念配当10円00銭が含まれております。

### 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,150	3.8	444	3.3	432	2.0	262	△1.4	229.21

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	1,145,144株	2023年6月期	1,145,144株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	1,668株	2023年6月期	1,668株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	1,143,476株	2023年6月期3Q	1,043,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、世界的な金融引き締めや海外景気の下振れによる影響があるものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復がみられました。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、企業活動の持ち直し、個人消費の持ち直しに伴い、駐車場の稼働率は順調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、収益の安定化と売上の拡大を目標に新規投資を行ってまいりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,499,374千円（前年同期比10.2%増）、営業利益は363,589千円（前年同期比9.7%増）、経常利益は355,201千円（前年同期比9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は234,998千円（前年同期比18.8%増）となりました。

報告セグメント毎の経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① コインパーキング事業

当社グループのコインパーキング事業は、主に、コインパーキングの運営ビジネスと駐車場機器の販売・保守ビジネスで構成されています。前者では、土地所有者から当社グループが土地を賃借し、当社グループ直営の駐車場・駐輪場として運営し、後者では、当社グループが駐車場運営事業者に駐車場機器を販売し、当社グループが駐車場システムの保守業務を受託しております。当第3四半期連結累計期間における直営及び管理受託している駐車場・駐輪場数及び車室数は以下のとおりであります。

(直営及び管理受託の運営駐車場・駐輪場数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (件)	1,201	80	43	1,238	37
管理受託駐車場・駐輪場 (件)	6,171	281	370	6,082	△89

(車室数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (車室)	22,507	1,306	739	23,074	567
管理受託駐車場・駐輪場 (車室)	113,799	9,906	5,369	118,336	4,537

コインパーキング運営ビジネスにおける主な取り組み内容とトピックスは、次のとおりであります。

主な取り組み内容の一つ目は、住宅街等の郊外を中心とした新規開設であります。この取り組みは、感染症の感染拡大時に稼働率が減少しにくい住宅地等の駐車場を増やすことで、収益の安定化を図るものです。二つ目は、既存駐車場における駐車料金の最適化であります。この取り組みは、既存の駐車場の周辺環境の変化による需要変動にいち早く対応することにより、駐車場の収益力の強化を図るものです。

トピックスは、2024年3月16日の北陸新幹線の敦賀延伸に伴う駐車場の需要増であります。当社は、福井市に本社を置き、福井県内で多数の駐車場を運営しておりますが、この影響により、当社が運営する福井県内の駐車場の利用者数は、大きく伸長しました。特に福井駅周辺の駐車場においては、2024年3月の売上が前年同月比14%増となりました。ただし、当社グループの売上高は、主に関東地方、関西地方などの大都市圏の売上高で構成されているため、北陸新幹線の敦賀延伸に伴う駐車場の需要増が当社グループの業績に与える影響は限定的であると認識しております。

駐車場機器の販売・保守ビジネスにおける主な取り組み内容とトピックスは、次のとおりであります。

主な取り組み内容は、当社グループ独自のスマートフォンアプリ「SmooPA」の宣伝による新規得意先の獲得であります。SmooPAは、コインパーキングの検索機能、コインパーキングの利用料金の決済機能を有しており、2024年3月31日までのSmooPA累計ダウンロード数は175,823件、2024年3月のアクティブユーザー数は約46,000件であります。

トピックスは、2024年7月3日の新紙幣発行を見据えた駐車場の精算機向け紙幣識別機の需要増であります。この影響により、駐車場機器の販売・保守ビジネスの売上は好調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における外部顧客への売上高は5,393,639千円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は722,978千円（前年同期比7.3%増）となりました。

② プロパティマネジメント事業

当社グループのプロパティマネジメント事業は、主に、当社所有のテナントビル及びマンションを個人又は法人に賃貸します。当第3四半期連結累計期間においては、土地売買の媒介により売上が伸長しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における外部顧客への売上高は100,230千円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は12,206千円（前年同期比138.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,988,709千円と前連結会計年度末と比べ174,974千円(8.1%)の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少258,124千円、売掛金の増加47,788千円及び貯蔵品の増加60,821千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、4,721,897千円と前連結会計年度末と比べ11,239千円(0.2%)の増加となりました。その要因は、有形固定資産の増加52,033千円、無形固定資産の減少6,522千円及び投資その他の資産の減少34,272千円であります。

有形固定資産につきましては、直営駐車場・駐輪場の新規開設に係る設備投資による機械装置及び運搬具の増加72,788千円が主な要因であります。

無形固定資産につきましては、減価償却が進んだことが主な要因であります。

投資その他の資産につきましては、保有株式の売却などによる投資有価証券の減少29,784千円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,733,966千円と前連結会計年度末と比べ265,817千円(13.3%)の減少となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少229,327千円及び賞与引当金の減少29,599千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,758,834千円と前連結会計年度末と比べ67,426千円(2.4%)の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少81,818千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,217,806千円と前連結会計年度末と比べ169,508千円(8.3%)の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加162,959千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2024年6月期の連結業績予想」に記載のとおりであります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428,439	1,170,314
売掛金	338,730	386,518
リース債権	15,653	—
仕掛品	14,074	21,050
貯蔵品	87,130	147,951
前払費用	257,196	247,340
その他	22,459	15,533
流動資産合計	2,163,683	1,988,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	842,395	811,106
機械装置及び運搬具（純額）	312,357	385,146
土地	3,001,575	3,008,481
リース資産（純額）	21,823	10,574
建設仮勘定	10,558	10,307
その他（純額）	92,851	107,977
有形固定資産合計	4,281,561	4,333,594
無形固定資産		
のれん	7,185	3,931
その他	62,167	58,899
無形固定資産合計	69,353	62,830
投資その他の資産		
投資有価証券	89,377	59,592
敷金及び保証金	134,309	134,967
繰延税金資産	80,018	77,149
その他	56,038	53,762
投資その他の資産合計	359,743	325,471
固定資産合計	4,710,658	4,721,897
資産合計	6,874,342	6,710,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	459,435	441,022
1年内返済予定の長期借入金	729,461	500,134
リース債務	41,649	29,078
未払費用	63,915	87,118
未払法人税等	99,028	65,229
契約負債	59,085	70,909
預り金	372,427	351,828
賞与引当金	80,079	50,480
その他	94,701	138,164
流動負債合計	1,999,783	1,733,966
固定負債		
長期借入金	2,212,638	2,130,820
リース債務	29,755	9,460
資産除去債務	482,210	516,432
長期預り敷金保証金	87,497	89,903
繰延税金負債	7,503	7,503
その他	6,655	4,715
固定負債合計	2,826,260	2,758,834
負債合計	4,826,044	4,492,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	583,630	583,630
資本剰余金	647,797	647,797
利益剰余金	812,600	975,560
自己株式	△2,038	△2,038
株主資本合計	2,041,990	2,204,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,307	12,856
その他の包括利益累計額合計	6,307	12,856
純資産合計	2,048,297	2,217,806
負債純資産合計	6,874,342	6,710,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,988,747	5,499,374
売上原価	3,563,780	3,963,499
売上総利益	1,424,967	1,535,874
販売費及び一般管理費	1,093,377	1,172,284
営業利益	331,589	363,589
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	1,919	2,369
違約金収入	2,464	—
保険金収入	2,804	3,119
その他	6,018	3,333
営業外収益合計	13,222	8,831
営業外費用		
支払利息	18,590	15,137
減価償却費	3,131	88
その他	—	1,993
営業外費用合計	21,722	17,219
経常利益	323,090	355,201
特別利益		
固定資産売却益	1,271	—
投資有価証券売却益	—	20,424
特別利益合計	1,271	20,424
特別損失		
固定資産除却損	6,458	9,417
特別損失合計	6,458	9,417
税金等調整前四半期純利益	317,903	366,208
法人税等	120,108	131,209
四半期純利益	197,794	234,998
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,794	234,998

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	197,794	234,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,669	6,549
その他の包括利益合計	1,669	6,549
四半期包括利益	199,464	241,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,464	241,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コイン パーキング 事業	プロパティ マネジメント 事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	2,777,941	493	2,778,435	3,320	2,781,756	—	2,781,756
一定期間にわたり移転され る財又はサービス	2,025,670	—	2,025,670	—	2,025,670	—	2,025,670
顧客との契約から生じる収 益	4,803,612	493	4,804,106	3,320	4,807,426	—	4,807,426
その他の収益 (注) 4	90,568	90,752	181,321	—	181,321	—	181,321
外部顧客への売上高	4,894,180	91,246	4,985,427	3,320	4,988,747	—	4,988,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	198	198	—	198	△198	—
計	4,894,180	91,444	4,985,625	3,320	4,988,945	△198	4,988,747
セグメント利益又は損失 (△)	673,737	5,118	678,856	△30,719	648,136	△316,547	331,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△316,547千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,347千円、その他の調整額1,800千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コイン パーキング 事業	プロパティ マネジメント 事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	3,155,326	6,087	3,161,413	5,503	3,166,917	—	3,166,917
一定期間にわたり移転され る財又はサービス	2,146,937	—	2,146,937	—	2,146,937	—	2,146,937
顧客との契約から生じる収 益	5,302,263	6,087	5,308,351	5,503	5,313,855	—	5,313,855
その他の収益 (注) 4	91,375	94,143	185,518	—	185,518	—	185,518
外部顧客への売上高	5,393,639	100,230	5,493,870	5,503	5,499,374	—	5,499,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	198	198	—	198	△198	—
計	5,393,639	100,428	5,494,068	5,503	5,499,572	△198	5,499,374
セグメント利益又は損失 (△)	722,978	12,206	735,184	△28,075	707,108	△343,519	363,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△343,519千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△345,319千円、その他の調整額1,800千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。